

日頃より大変お世話になっております。

若松病院産婦人科も、3人で入院診療を始め3年目に入りました。先生方に紹介していただいたおかげで、2014年度は合計274件の手術を施行することができました。骨盤臓器脱の経膈メッシュ手術・腹腔鏡手術をはじめとして、良性疾患の手術はほとんど内視鏡で行いました。未経産の巨大筋腫摘出、筋腫核出、癒着のひどい内膜症など難易度の高い症例も対応可能となりつつあります。現在2ヶ月以内に入院が可能で、手術時間短縮・短期入院による低侵襲手術を行っています。



若松病院産婦人科ホームページ

<http://obgyn-wakamatsu.iimdo.com/>

お問い合わせメールアドレス

yoppy@med.uoeh-u.ac.jp

2014.4.1-2015.3.31 手術統計

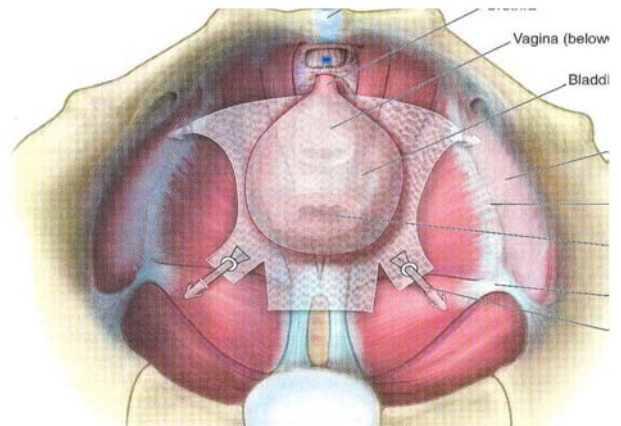
手術件数			手術件数		
腹腔鏡手術			経膈手術		
卵巣		14	メッシュ手術		104
子宮	子宮全摘術	40	膈閉鎖術		6
	筋腫核出術	5	TVT (尿失禁手術)		7
骨盤臓器脱	子宮全摘+膈断端固定	58	膈式子宮全摘出術		8
	仙骨膈固定術 (LSC)	17	その他		
子宮外妊娠		4	子宮鏡手術		17
			開腹術 (単純子宮全摘術)		2
	*重複あり		その他		6

- ・ 今後も一人でも多くの患者様に、よりよい医療を提供できるよう努力します。
- ・ 地域に根ざした医療に加え、若松病院でしか出来ない医療を確立していきます。
- ・ 骨盤臓器脱症例、腹腔鏡を希望する良性疾患症例、若松病院に通院圏内の症例などございましたら、ご紹介をお願いいたします。

最近のトピック

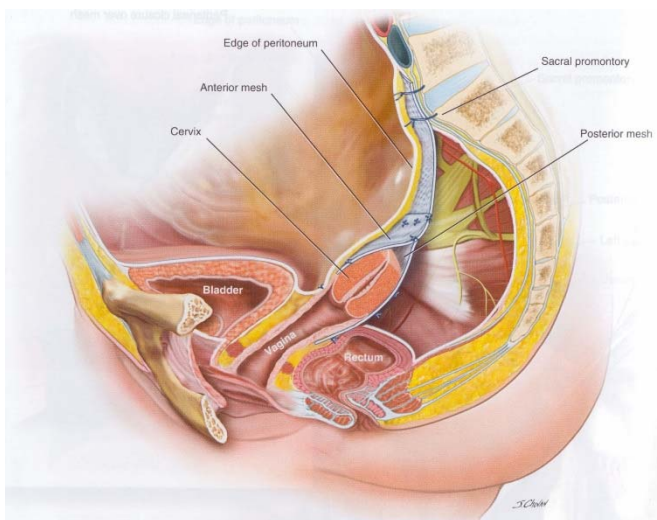
1. 経膣メッシュ手術の変化

2011年に米国FDAより経膣メッシュ手術に対する警告が出され、世界的に実施件数が減少しています。しかし日本ではきちんとトレーニングした術者が、現在でも安全に行っています。膀胱瘤に対する有効性は認められていますが、直腸瘤に対しては有効性不明となっており、後壁にはなるべくメッシュを使用しないようにしています。その代わりに、キット製品のElevateに準じて、前壁メッシュの第2アームを後方の仙棘靭帯に通すElevate TVMを行っています。この方法では、子宮頸部の挙上が強力であり、後壁はメッシュを使用しない形成術を行うことで補強します。当院では性器脱の約半数に対し経膣メッシュ手術を行っており、良好な成績です。



2. 腹腔鏡下メッシュ手術（仙骨腔固定術：LSC）

近年、経膣メッシュ手術に代わる新しい性器脱手術として注目されています。腹腔鏡で膣上部切断術により子宮体部を切除し、膣粘膜下にメッシュを挿入し、子宮頸部と共に仙骨前面に牽引固定する方法です。膣内に創ができないため、性交渉を行う若年症例（当院では60歳未満）が対象となります。



しかし、難易度が高く時間がかかるため、肥満症例ではリスクが増えます。以前より開腹で行われていた術式で、長期予後が良好、メッシュ露出・感染が少ない有効な手術です。当院でも適応症例に対して施行しています。